

平野「銀」

スノボ男子HP 15歳 日本勢冬季最年少

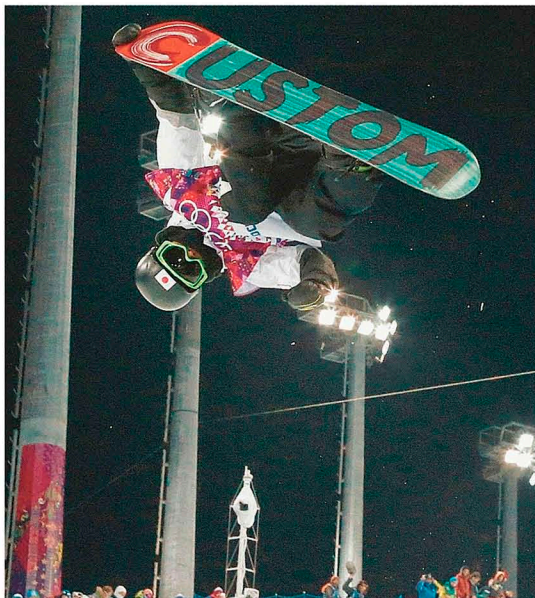
sochi.ru®
2014

平岡「銅」



【ソチ共同】ソチ冬季五輪第5日の11日、スノーボードの男子ハーフパイプ(HP)で15歳の平野歩夢(ハートン)が2位、18歳の平岡卓(フッド)は3位となり、今大会の日本選手団に待望のメダルをもたらした。

ソチ冬季五輪の男子ハーフパイプで銀メダルを獲得した平野歩夢(左)と銅メダルの平岡卓(右)。ソチ(共同)



男子ハーフパイプ決勝2回目でエアを決める平野歩夢。銀メダルを獲得した=ソチ(共同)

15歳2カ月の平野は、冬季五輪の日本勢で最年少のメダリストとなった。3連覇を狙ったスーパースターのシヨーン・ホワイト(米国)は4位だった。新潟・村上一中3年の平野は昨年8月のワールドカップでは全種目を通じて最年少優勝。奈良県出身で大阪・上宮高3年の平岡は、昨年の世界選手権で2位に

入った。若い2人が初の五輪でも持ち味を存分に発揮し、歴史に名を刻んだ。南会津で技術磨く平野は6歳以上飛ぶとされる高いエアが持ち味で、中学生ながら世界大会で優勝するなど五輪前からメダル候補として注目を集めた。小学生の時には南会津町の会津高原南郷スキー場のHPで練習を重ね、技術の基礎を固めた。

ジャンプ高梨4位

ノルディックスキーク・ジャンプ女子で17歳の高梨沙羅(クラレ)は4位に終わった。初代女王にはカーリナ・フォクト(ドイツ)が就いた。19歳の伊藤有希(土屋ホーム)は7位だった。